



平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 歌舞伎座

コード番号 9661 URL <http://www.kabuki-za.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大谷 信義

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 池田 喜実

TEL 03-3541-5572

四半期報告書提出予定日 平成22年7月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	617	△8.1	3	△95.2	11	△87.0	△149	—
22年2月期第1四半期	671	—	79	—	91	—	55	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	△12.46	—
22年2月期第1四半期	4.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	18,908	8,886	47.0	733.50
22年2月期	12,445	8,416	67.6	712.71

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 8,886百万円 22年2月期 8,416百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	649	△51.7	△176	—	△168	—	△258	—	△21.85
連結累計期間	1,004	△64.2	△351	—	△348	—	△379	—	△32.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	12,170,000株	22年2月期	12,170,000株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	54,447株	22年2月期	360,447株
-----------	-------------	---------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年2月期第1四半期	11,962,553株	22年2月期第1四半期	11,814,037株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関しましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、企業収益の改善や設備投資の下げ止まりといった景気回復の傾向は見られたものの、雇用情勢は依然として厳しく、緩やかなデフレ状況が続いていること等先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、平成22年4月をもって劇場歌舞伎座を建替えのため閉場したことにより、当社グループの当第1四半期連結会計期間の売上高は617,148千円(前年同期比8.1%減)、営業利益は3,795千円(前年同期比95.2%減)、経常利益は11,849千円(前年同期比87.0%減)、四半期純損失は149,068千円(前年同期は55,337千円の四半期純利益)となりました。

これを事業の種類別にみると、不動産賃貸事業については、劇場賃貸収入が4月までとなったことによる賃料収入の減少等により、売上高は175,047千円(前年同期比32.0%減)、営業利益は113,660千円(前年同期比36.1%減)となりました。

食堂・飲食事業及び売店事業においては、3月から4月までの「歌舞伎座さよなら公演」が大盛況に推移するなか、食堂・飲食事業の売上高については190,997千円(前年同期比14.8%減)となりましたが、原材料費や人件費等の経費増により4,151千円の営業損失(前年同期は4,116千円の営業損失)となりました。売店事業の売上高については、さよなら公演関連商品の売上が好調に推移したことにより251,103千円(前年同期比31.9%増)となり、営業利益は34,655千円(前年同期比138.3%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6,463,409千円増加し18,908,798千円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ535,069千円増加し1,504,355千円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加730,641千円及び繰延税金資産の減少137,324千円であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ5,928,339千円増加し17,404,442千円となりました。主な増減は、劇場建替え関連の建設仮勘定の増加4,018,420千円、借地権の増加1,963,323千円及び投資有価証券の時価評価による減少139,471千円並びに長期前払費用の増加106,736千円であります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,661,367千円増加し4,849,687千円となりました。主な増減は、劇場建替え関連の未払金の増加1,748,518千円、前連結会計年度に計上した建替関連損失引当金の取り崩し等による減少455,034千円、1年内返還予定の預り保証金の減少302,128千円及び短期借入金の増加300,000千円並びに未払法人税等の増加259,537千円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4,332,072千円増加し5,172,356千円となりました。主な増減は、劇場の定期借地権設定に係る契約に基づいてK S ビルキャピタル特定目的会社より受領した地代の一部を長期前受金として4,416,300千円計上したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ469,968千円増加し8,886,753千円となりました。主な増減は、連結子会社である歌舞伎座事業㈱が保有していた親会社株式(自己株式)を全て処分したことによる資本剰余金の増加(自己株式処分差益)666,611千円、利益剰余金の減少208,116千円及び自己株式を処分したことによる増加94,569千円並びにその他有価証券評価差額金の減少83,095千円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており、現時点においては、平成22年4月16日の決算発表時の業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間において、販売費及び一般管理費の「その他」に含めて表示しておりました「支払報酬」は販売費及び一般管理費総額の100分の20を超えたため、区分掲記しております。なお、前第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費の「その他」に含まれる「支払報酬」は5,865千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,452,047	721,405
売掛金	14,060	72,759
たな卸資産	5,716	16,452
繰延税金資産	5,550	142,875
その他	27,781	16,755
貸倒引当金	△800	△962
流動資産合計	1,504,355	969,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	551,867	568,749
土地	6,236,253	6,236,253
建設仮勘定	4,034,597	16,177
その他（純額）	51,784	56,366
有形固定資産合計	10,874,503	6,877,547
無形固定資産		
借地権	2,597,095	633,771
商標権	76	89
ソフトウェア	6,650	7,060
電話加入権	—	1,870
無形固定資産合計	2,603,821	642,791
投資その他の資産		
投資有価証券	3,779,467	3,918,938
長期前払費用	107,495	758
その他	39,154	36,065
投資その他の資産合計	3,926,117	3,955,763
固定資産合計	17,404,442	11,476,102
資産合計	18,908,798	12,445,388

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,934	165,704
短期借入金	500,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	940,000	940,000
未払金	1,849,325	100,807
未払法人税等	302,791	43,254
前受金	196,646	23,074
賞与引当金	9,187	4,528
建替関連損失引当金	829,700	1,284,734
1年内返還予定の預り保証金	79,984	382,112
その他	42,117	44,104
流動負債合計	4,849,687	3,188,319
固定負債		
長期末払金	167,303	193,177
長期前受金	4,416,300	—
繰延税金負債	248,494	306,443
退職給付引当金	36,359	35,253
長期預り保証金	303,897	305,409
固定負債合計	5,172,356	840,283
負債合計	10,022,044	4,028,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,365,180	2,365,180
資本剰余金	3,167,649	2,501,038
利益剰余金	3,171,638	3,379,754
自己株式	△242,387	△336,956
株主資本合計	8,462,080	7,909,016
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	424,673	507,768
評価・換算差額等合計	424,673	507,768
純資産合計	8,886,753	8,416,785
負債純資産合計	18,908,798	12,445,388

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	671,899	617,148
売上原価	465,209	458,569
売上総利益	206,689	158,578
販売費及び一般管理費		
人件費	80,048	71,235
賞与引当金繰入額	7,156	4,055
退職給付費用	2,091	1,391
支払報酬	—	32,450
租税公課	3,197	2,841
減価償却費	643	1,459
その他	34,039	41,350
販売費及び一般管理費合計	127,177	154,782
営業利益	79,511	3,795
営業外収益		
受取利息	244	194
受取配当金	15,067	15,067
その他	3,214	1,707
営業外収益合計	18,526	16,969
営業外費用		
支払利息	5,280	7,579
株式交付費償却	533	—
有形固定資産除却損	701	244
その他	24	1,091
営業外費用合計	6,540	8,915
経常利益	91,497	11,849
特別利益		
建替関連損失引当金戻入額	—	3,930
特別利益合計	—	3,930
特別損失		
建替関連損失	—	28,531
特別損失合計	—	28,531
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	91,497	△12,752
法人税、住民税及び事業税	36,745	565
法人税等調整額	△585	135,751
法人税等合計	36,159	136,316
四半期純利益又は四半期純損失(△)	55,337	△149,068

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	91,497	△12,752
減価償却費	27,292	9,193
建替関連損失引当金の増減額(△は減少)	—	△370,034
貸倒引当金の増減額(△は減少)	47	△161
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,461	4,659
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,961	1,106
受取利息及び受取配当金	△15,311	△15,261
支払利息	5,280	7,579
株式交付費償却	533	—
有形固定資産除却損	701	19,021
売上債権の増減額(△は増加)	△8,428	58,698
たな卸資産の増減額(△は増加)	10	10,736
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,264	△65,769
未払消費税等の増減額(△は減少)	△368	△5,620
長期未払金の増減額(△は減少)	△4,592	△25,874
長期前受金の増減額(△は減少)	—	4,416,300
預り保証金の増減額(△は減少)	—	△91,558
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△87,589	△1,512
その他	5,194	101,847
小計	27,427	4,040,599
利息及び配当金の受取額	15,311	15,261
利息の支払額	△5,421	△6,178
法人税等の支払額	△81,423	△36,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	△44,105	4,013,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△63	△4,040,184
有形固定資産の除却による支出	△471	△265
無形固定資産の取得による支出	△1,950	△544,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,485	△4,584,774
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	500,000
短期借入金の返済による支出	—	△200,000
自己株式の処分による収入	—	1,060,938
自己株式の取得による支出	△4,194	—
配当金の支払額	△77	△59,053
その他	37	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,234	1,301,884
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△50,825	730,641
現金及び現金同等物の期首残高	1,174,885	721,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,124,060	1,452,047

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)

	不動産 賃貸事業 (千円)	食堂・飲食 事業 (千円)	売店事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	257,258	224,202	190,437	671,899	—	671,899
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,608	694	—	41,302	(41,302)	—
計	297,866	224,897	190,437	713,201	(41,302)	671,899
営業利益又は営業損失(△)	177,774	△4,116	14,542	188,201	(108,689)	79,511

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

事業区分	事業内容
不動産賃貸事業	劇場、事務所等の賃貸及び駐車場の賃貸事業
食堂・飲食事業	劇場内外における食堂、飲食店事業
売店事業	劇場内の土産物などの売店事業

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)

	不動産 賃貸事業 (千円)	食堂・飲食 事業 (千円)	売店事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	175,047	190,997	251,103	617,148	—	617,148
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,413	332	63	39,809	(39,809)	—
計	214,460	191,330	251,166	656,957	(39,809)	617,148
営業利益又は営業損失(△)	113,660	△4,151	34,655	144,164	(140,369)	3,795

(注) 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

事業区分	事業内容
不動産賃貸事業	劇場、事務所等の賃貸及び駐車場の賃貸事業
食堂・飲食事業	劇場内外における食堂、飲食店事業
売店事業	劇場内の土産物などの売店事業

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)

該当事項はありません。(在外連結子会社及び在外支店はありません。)

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)

該当事項はありません。(海外売上高はありません。)

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。